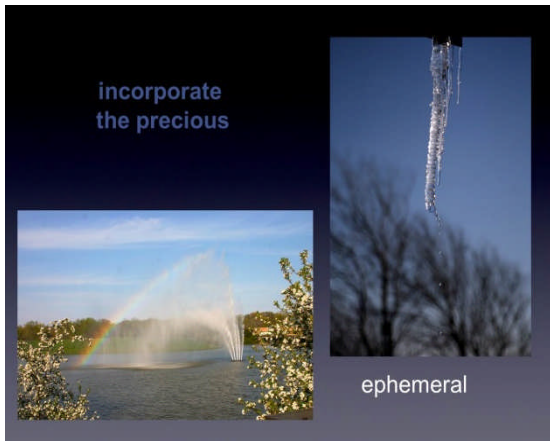
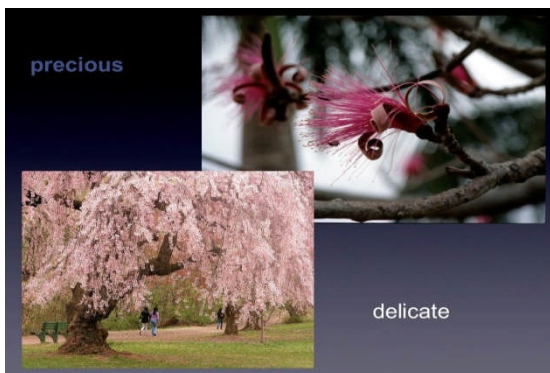


「私はトマトを栽培し、発芽したかぼちゃとすいかに感嘆した。そこにいると私は人生について一人生というサイクルについて何が大切か思い出した」。



自然の中にある貴重なものと一体化したり、はかないもの、繊細なもの、稀なるもの、珍しいものを見つけて感動したり、受け入れたりする体験が大切です。写真は、噴水にできた虹と、昼になったら消えてしまうであろう氷柱(つらら)です。



ハッとするような繊細なものや珍しいもの、美しいものが自然の中には存在します。その素晴らしさには感動します。



また、自然の中では種を超えた一体感を感じることができます。

それは、各国の文化や習慣の中にも見出せます。写真は中国の庭園、イギリスのストーンヘンジ、日本の七夕。宇宙や神とのつながりが感じられる風習や習慣があります。



これらは、つながる機会を提供します。人間の文化を通して、種を超えて、時を超えて移動する機会へ誘い、自分の過去とつながり、ライフサイクルを経験し、より大きな自信へと広がります。



写真の女性はブータンの方です。「タンポポの種子に願いをかけて吹く」と、子供のころを思い出しています。国を超えて同じような思い出があります。右の写真は私自身の思い出で、クモの巣に朝露が浮かんでいますが、これを子供のころ「妖精のテーブルクロス」と言って探した思い出があります。

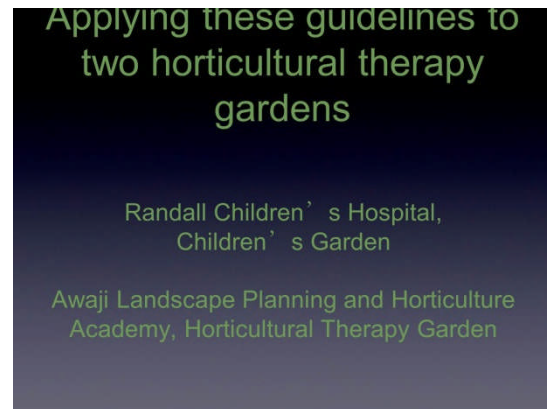


朽ちた古い切り株にキノコが生えたり、残り花が咲いたり、実生で自然に芽が出たり。回復環境は単に心を癒すだけのものではありません。植物の各段階に注意を向けることにより、我々は全体に関心をもつことができます。これらからも人生のライフサイクルに思いをはせさせてくれます。

以上のようなガイドラインを2つの園芸療法ガーデンに当てはめてみたいと思います。

ランドオールこども病院の「子供の庭」と、淡

路景觀園芸学校の「園芸療法ガーデン」の写真で例にあけてご紹介します。



オレゴン州のポートランドにあるランドオールこども病院です。

まず、「旅立ち」の要素を探してみましょう。病室から、ロビーから、廊下から美しいガーデンを見ることができます。また、ガーデンに向かう案内板も整備されています。







遠くに臨める目標物と曲がりくねった道。左の写真は、「オズの魔法使い」の黄色い小道が曲がりくねって続いています。



庭で行われるアクティビティは人をガーデンに誘い、滞在時間を長くします。庭にはいろいろな仕掛けがしてあり、発見する要素が隠れています。



次は、「感覚の覚醒」です。触覚と味覚の写真です。葉を触って楽しんだり、実ったブドウを食べたりできます。



視覚と聴覚です。花を見たり水の音を楽しんだり、病院の庭にベッドで散歩に得ることができます。



次は3つ目のパターンの「内省」です。一人で心地よい場所で過ごすことができる空間があります。

また、ここは気の合った他の人々と集うことができる社会的支援の場所です。小さな椅子は子どもたちにとって、歓迎されていると感じさせることができます。